

令和三年度敬老会 市長祝辞

皆様、本日は誠にめでたうございます。

こうして、お元気に敬老の日を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。また、今日までの浜松市の発展に、多大なご尽力を賜りましたことに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

この夏、東京^{にせろにせろ}オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。東京での開催は五七年ぶりとなりましたが、前回の一九六四年大会で話題となった「裸足の王様」アベベ選手や、「東洋の魔女」と呼ばれた女子バレーボールチームを思い出された方も多いのではないのでしょうか。

二〇二一年の今大会は、日本のお家芸ともいえる柔道など、伝統的な種目で多くのメダルを獲得しましたが、浜松市出身の金メダリストも誕生しています。オリンピックでは、ソフトボールで金メダルを獲得した渥美^{あつみ}万奈^{まな}選手。そしてパラリンピックでは、水泳で金メダルを獲得した鈴木^{すずき}孝幸^{たかゆき}選手。浜松で生まれ育った選手が世界を舞台に活躍する姿は、感慨深いものがありました。

一方、オリンピック・パラリンピックが興奮をもたらした裏側では、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いていることも、忘れてはならないことです。人類がコロナウイルスと共存することを前提とした時代となり、今が感染症対策を優先すべき時なのか、それとも社会生活・経済対策を優先すべき時なのかを見極める必要が生じました。

こうした二重の様式を持つ「デュアルモード社会」に対応できるよう、浜松市では市民の皆様の健康と安全を重視する「安全モード」と、経済活動を優先する「経済モード」の二つをバランスよく機能させる市政運営に取り組んでおります。

浜松市としては、引き続き感染予防やワクチン接種の推進に全力を尽くすとともに、戦後の長い成長期を支え、豊かな日本を築いてくださった皆様のお力もお借りしつつ、ウィズコロナの時代を乗り越え、「地域で共に支え合い 安心していきいきと暮らすことのできるまち 浜松」の実現を目指してまいります。

結びに、皆様がいっまでもお元気で、ご多幸でありますことを、心から祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和三年九月

浜松市長 鈴木康友